

東京医科歯科大学医学部附属病院
「みんなの健康を育む病院だより」



オアシス



INDEX

宮坂信之前病院長(左)と田中雄二郎新病院長(右)

東京医科歯科大学医学部附属病院 新病院長・田中雄二郎よりご挨拶

新旧病院長対談
消防総監賞をいただきました
医療連携支援センターが引っ越しました
新任教授インタビュー／脳神経外科・前原健寿
患者さんからのQ&Aに答えます！





医学部附属病院 田中雄二郎新病院長のご挨拶

当病院の理念は「安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院」です。文字通り、安全でかつ質の高い医療を提供し続けることが当病院に求められていることであると思います。さらに、病院として「社会に開かれた存在」であることを十分に意識しながら、透明性の高い、かつ説明責任の果たせる存在でありたいと考えております。

当病院の目標は、

- 1 患者中心の良質な全人的医療の提供
- 2 人間性豊かな医療人の育成
- 3 高度先進医療の開発と実践
- 4 国民のニーズに応える開かれた病院

の4つです。

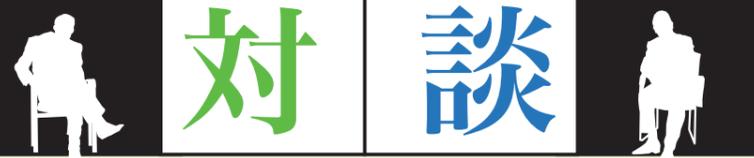
当病院は特定機能病院として、高度な医療を提供しつつ、高度な医療技術を開発し、その一方で医療研修を行うことで優れた医療人を育成する、という使命を持っています。また、同時に当病院は急性期病院として急性期の医療を中心に展開することが求められており、診療所あるいは療養型医療機関と密接に連携していく必要があります。これらの多様な使命を十分に果たすことができるように、医師・コメディカル・事務職員が一丸となって診療にあたる所存です。

当病院には33の診療科と33の中央診療施設があります。難治疾患を中心としたさまざまな病気の治療にあたる専門家を揃え、診療科の垣根を越えた連携を行いながら診療にあたっております。当病院が「病める」方々に対して最善の医療を提供するとともに、「心のオアシス」となることができるように職員一同が全力を尽くしたいと考えておりますので、皆様のご支援をよろしくお願い致します。

医学部附属病院長 田中雄二郎



新旧病院長



宮坂信之 前病院長

患者さんにご家族のオアシスであり続けて欲しいですね

田中雄二郎 新病院長

患者さんを第一に考える魂をオアシスで育成します

田中雄二郎新病院長と、2年間の任期を終えた宮坂信之前病院長が、当病院の取り組みについて語り合いました。

目標はほぼ達成できました。(宮坂)
それを継続・発展させます。(田中)

宮坂▶ 私が病院長になった2年前、ちょうど東日本大震災が発生し、病院を上げて緊急に対応する必要があり、その中で病院のしくみ、現状、問題点がよく見えてきました。

田中▶ そんな緊急事態だったにもかかわらず、宮坂先生は、ものすごいスピードで目標を達成されました。たとえば、難病治療部を創設して病院の特色を示したり、診療報酬請求制度の見直しのために、経営のプロにアドバイスを求めたり、臨床腫瘍学講座を設けて、がん診療拠点病院の準備をしたり、医療連携についても積極的にそしてスピーディーに取り組まれました。そのおかげで地域医療連携室も体制が整

い、地域の医療機関の皆様や患者さんにとって最善の医療サービスを提供していく布石は整いました。

宮坂▶ そうですね。地域との連携や患者さん向けの相談室は、第一優先で取り組みました。任期中の目標はほぼ達成できましたが、がん診療拠点病院になることができなかったのが残念です。

田中▶ 宮坂先生が整備してくださった環



境に魂を吹き込んでいくのが私の仕事だと思いますので、引き続き、病院全体の目標として取り組んでまいります。

退院後も患者さんの事を考え地域連携を。(宮坂)

長期的な患者さんのQOL向上には地域医療機関との連携が大切。(田中)

宮坂▶ いま求められている医療は、「病院完結型」ではなく、「地域完結型」です。1つの大きな病院がすべての治療を行うのではなく、患者さんの状態やニーズに対応しながら、一人一人に最も最適な方法を提案し、実践することです。そのために患者さんと地域の医療機関との連携、チームワーク作りが必要です。

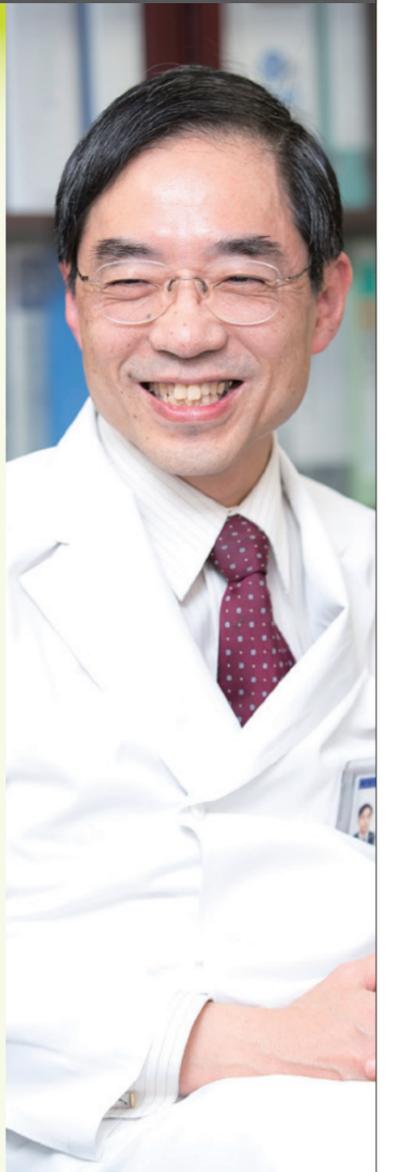
田中▶ 私も2年間、副院長を務めて、病気

の治療という目の前の業務だけでなく、全体を意識することが大切だと感じました。治療中、退院後、リハビリなど、長い目で患者さんのQOLを考えたとき、地域の医療機関との連携が欠かせません。

「共通のゴール」作りを進めます。(田中)
人を育てまとめるのは田中先生の得意技ですね!(宮坂)

田中▶ チームワーク作りには情報の共有が欠かせません。病院からのメッセージとして、私から積極的に情報を発信して、当病院と患者さんが共通のゴールを持ち、結束を固めたいと思います。

宮坂▶ 「オアシス」も、患者さんと病院をつなぐ良いツールなので、ますますのご発展を楽しみに見守っています。

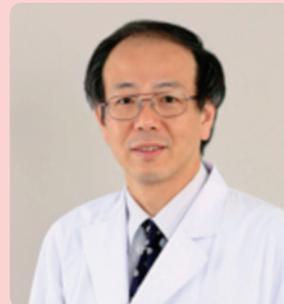


新任教授インタビュー

脳神経外科・前原健寿

2012年11月に着任した脳神経外科長の前原健寿教授に話を聞きました。

脳神経外科で扱う病気で最も多いのは脳卒中、脳梗塞、脳出血などの脳血管障害、脳脊髄腫瘍、外傷、てんかん、三叉神経痛など多岐にわたり、血管内治療科、麻酔科、神経内科、精神科、小児科などとの連携も大切で、さらに緊急を要する手術も多数あります。特に当病院では、CT、MRI、PETなど、最先端の画像診断機器を用いた最先端の診断と、24時間体制の治療に努めています。また難治性てんかんの治療に関して国内でも有数の豊富な経験を持ちます。さらに歯学部と連携して三叉神経痛の治療を行ったり、そのほかにも数々の神経疾患に取り組んでいます。



老年病内科インタビュー

老年病内科・下門顕太郎教授

70代以上の複数の病気を抱えた患者さんの臨床と研究に取り組んでいます。

心臓病と認知症、肺炎とがんなど、高齢者はさまざまな臓器の機能が低下しているために、ひとつの病気の治療だけではうまく治らないことがあります。特にもの忘れなど認知機能が低下すると、通常の成人向けの治療では対応しきれない場合が生じます。老年病内科では、このような高齢者に対して、総合的に診断を行った上で、院内の各科と連携を取りながら治療を進めます。なるべく長期入院にならないようにして、地域の病院やご家族とも話し合いながら、退院後も高齢の患者さんに無理のないような最善の治療方法を考えます。おおむね70歳以上の高齢者でさまざまな病気でお悩みの方はご相談ください。



睡眠の悩みは
快眠センターへ



眠れない、熟睡できない、途中で目が覚めてしまう、いびきがひどいなど、近年、24時間社会となり社会構造が変化するにつれて睡眠トラブルを抱える人が増えています。快眠センターでは、呼吸器内科医、精神科医、歯科および耳鼻科医師による総合的な医療が可能となっています。

パンフレットや詳細は3階内科外来 03-5803-4587 でお問い合わせください。



医療連携支援センターが引っ越しました

病院1階に移転し、利用しやすくなった医療連携支援センターについて
泉山肇新センター長代行に聞きました。

医療連携支援センターは3つの部門に分かれておりますが、それぞれの部門との連携と結束を高め、また患者さんや地域医療機関の方に利用しやすいセンターにするため、2013年2月1日より、病院1階に移転しました。患者さんの紹介や初診予約など地域医療機関との窓口の「地域連携室」、患者さんの疑問・ご意見に対応する「患者相談室」、患者さんと家族が安心して治療や療養できるようにサポートする「医療福祉支援室」のスタッフが、笑顔でお待ちしております。電話・FAXなどの設備も充実させましたので、紹介状や予約なども迅速に対応します。



改善しました!

さわやかサービス 委員会より



医療連携支援センターの患者相談室では患者さんやご家族のご意見をお伺いしています。みなさんの貴重なご意見を生かすために「さわやかサービス委員会」がサービス改善に取り組んでいます。

その1

▶患者さんのご意見

問い合わせの電話が通じにくいです。かかりやすい時間帯は?



▶改善への取り組み

大変申し訳ございません。平日の午前中が比較的かかりやすいです。対策として電話回線や職員の数を増やしました。また、電話対応のマニュアルを作成して、迅速に処理できるように職員全員が心がけています。

その2

▶患者さんのご意見

門から入口までの長い昇り坂のスロープを一気に歩くのがつらいので途中にベンチを置いてください。



▶改善への取り組み

ご指摘の通りです。階段の踊り場に、小さなベンチを設置しました。お疲れになりましたら、こちらで休憩してください。またスロープがきつい人は、2月より使用できるようになった玄関前のエレベーターをご利用ください。

救命救急活動に 消防総監賞をいただきました

2013年3月7日、当病院の日頃の消防業務への協力活動に対して、消防総監賞が授与されました。この日は「第65回東京消防庁開庁記念日」(1948年3月7日に東京消防庁が警視庁から分離独立したことを記念して制定)で、本郷消防署の佐々木警防課長がお越しになり、当病院前病院長宮坂信之に感謝状を渡してくださいました。



本郷消防署の佐々木警防課長が感謝状を授与。



当病院の救急活動に対する消防総監賞を記念した感謝状

平成24年度東京医科歯科大学 医学研究奨励賞受賞者のご紹介

研究実践に顕著な成果を挙げた教員に対して贈られる医学研究奨励賞が決まりました。

医学研究部門編

島田 周

【大学院医歯学総合研究科
分子腫瘍医学 助教】

研究課題名：

Synergistic tumour suppressor activity of E-cadherin and p53 in a conditional mouse model for metastatic diffuse-type gastric cancer



油井 史郎

【大学院医歯学総合研究科
消化器病態学分野 メディカルフェロー】

研究課題名：

Functional engraftment of colon epithelium expanded in vitro from a single adult Lgr5+ stem cell

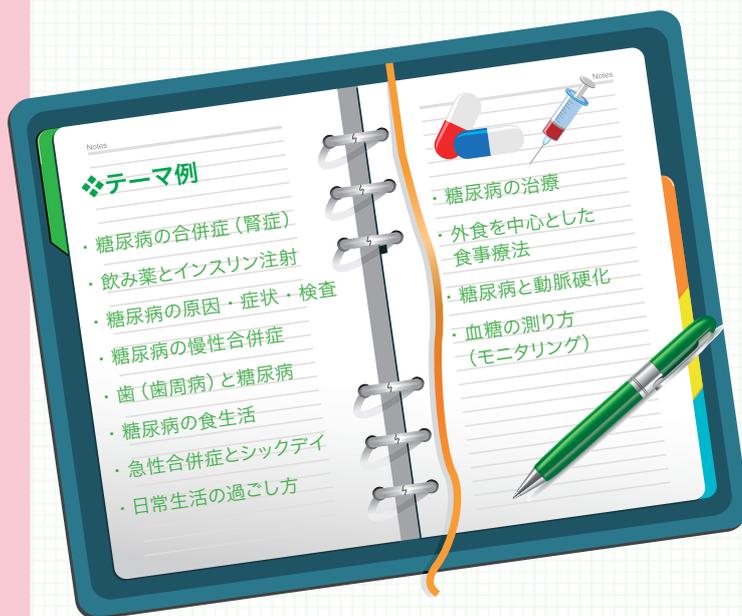




参加募集

糖尿病教室のお知らせ

糖尿病患者さんが糖尿病について理解を深め、よりよい血糖コントロールが得られるよう、関連診療科・部門のスタッフと連携して糖尿病教室を開催しています。毎週水曜午後2時からの開催で、4週間で1クールとなっています。患者さん・ご家族の方はどなたでもご自由に参加して頂けますので、ぜひ参加をおすすめ下さいますようお願い致します。詳しくは、案内チラシ(病院ロビー、内科外来)をご参照下さい。



●開催日時

◆第1～第4水曜日 午後2時～3時40分(祝祭日除く)

●テーマ例

- ◆糖尿病の治療 ◆外食を中心とした食事療法
- ◆糖尿病と動脈硬化 ◆血糖の測り方
- ◆糖尿病の合併症(腎症) ◆飲み薬とインスリン注射
- ◆糖尿病の原因・症状 ◆検査

●B棟5階 症例検討室で行います

お時間は14:00から15:40までです。事前のお申し込みは必要ありませんので、直接会場へお越しください(ご都合の良いときに何度でもご参加ください)

●主催

糖尿病・内分泌・代謝内科

●共催

腎臓内科、老年病内科、歯周病科、看護部、薬剤部、臨床栄養部

セカンドオピニオン 外来とは

問い合わせ先

医事課セカンドオピニオン外来
受付担当
TEL: 03-5803-4568

セカンドオピニオン外来は、当院以外の主治医にかかられている患者さんを対象に、診断内容や治療法に関して、意見・判断を提供し、今後の治療の参考にさせていただくことを目的としています。ご希望の方は、まず現在の主治医と相談の上、セカンドオピニオン外来にお申し込みください。

なお、当院での診療内容に関して、他院でのセカンドオピニオンを希望される方は、担当医にお申し出ください。必要な診療情報提供書や資料をご用意いたします。



献体のご紹介

問い合わせ先

東京医科歯科大学献体の会
TEL: 03-5803-5147

献体とは、医学・歯学の大学における解剖学の教育・研究に役立たせるため、自分の遺体を無条件・無報酬で提供することをいいます。自分の死後、遺体を医学・歯学のために役立てたいと志した方は、まず最初に生前から献体したい大学や団体に名前を登録しておく必要があります。献体に関するお問い合わせは、左記をお願いいたします。





奨学寄附金・大学基金の お願い



奨学寄附金のおお願い

東京医科歯科大学ではさまざまな病気に対する治療法や治療薬の開発に結び付く研究や、患者さんに信頼される医療人となるための教育を行っています。奨学寄附金は東京医科歯科大学が行っている人材育成や研究活動に対してのご寄附を企業や個人の皆様から募っております。特定の診療科や医師を指定して寄附することも可能で、金額も決まっておりません。寄附金は税制上の優遇措置が講じられます。詳しいことは下記にお問い合わせください。

問い合わせ先

研究・産学連携推進機構事務部
産学連携室 産学連携掛
TEL：03-5803-4927
FAX：03-5803-0179

奨学寄附金の流れ



東京医科歯科大学基金のおお願い

東京医科歯科大学基金は、皆様のご支援により、世界中で活躍する医療人を育み、知と癒しの匠を創造するために次のような「基金事業」に活用されます。ご寄附は一口1万円で本学で用意した振込用紙にて振り込むことができます。また、税制上の優遇措置が講じられます。詳しいことは下記にお問い合わせください。

●国際交流事業

留学生の支援・学生の海外派遣の推進・海外拠点の支援・外国の大学などの教育・研究協力・交流の支援

●学生育成奨学事業

優秀な学生への奨学金の充実・勉学環境の充実

●その他の事業

産学連携・社会貢献活動の支援

問い合わせ先

東京医科歯科大学募金室
TEL：03-5803-5009 FAX：03-5803-0273



病院内レストランのご案内

オークラ カフェ&レストランメディコ(医学部附属病院 16階 ☎03-5840-6905)・レストランあるめいだ(歯学部駐車場入口付近 ☎03-3811-9607)
グリル 峰(歯学部駐車場入口地下 ☎03-5803-5990)・グリル セインツ(1号館9階 ☎03-3814-6766)・生協食堂(5号館1階 ☎03-3818-5255)



病院をもっと知って快適に…

患者さんのQAに答えます!

東京医科歯科大学医学部附属病院をもっと快適にご利用いただくために、患者さんの質問にお答えします。ぜひお読みください。

Q 病院受付ロビーに行くエレベーターは?

A 病院建物前のタクシー乗り場近くにあります。

正面入り口の上り坂のエントランスを歩くのが難しい患者さんや車イスの患者さんのために、病院建物前のタクシー乗り場奥にあるエレベーターが利用できるようになりましたので、ご利用ください。



Q 受付のあたりで時々やさしい音色が聞こえますが…

A 第一木曜日の14:00～15:00にオルゴール演奏をしています。

ボランティアによるオルゴール演奏は、毎月第一木曜日、14:00～15:00 1階ロビーで行います。日時、時間などは変更になる場合があります。

Q 待っていて気分が悪くなったら?

A お近くの受付・係員にお申し出ください。

もし来院中にご気分が悪くなったら、お近くの受付・係員にお申し出ください。また発熱・咳・のどの痛みなどの自覚症状がある方は、感染症予防のため、来院目的にかかわらず、お近くの受付にすぐにお申し出ください。

Q がん患者と家族が相談するには?

A 「おしゃべりサロン」にご参加ください。

がん患者さんとご家族が集い、語らい、大切な時を一緒に過ごす「おしゃべりサロン」を定期的に開催しています。場所はA棟5階会議室です。開催日時は腫瘍センター・がん相談支援部門(TEL 03-5803-4008)にお問い合わせください。



屋上庭園をご利用ください

当病院8階に庭園がございます。季節の花が咲き、ゆっくりと過ごせるスペースを設けておりますのでご利用ください。



院内コンサートをお楽しみください

当病院では不定期ですが、1階外来ロビーで、ボランティアによる院内コンサートを行っています。開催前に日程・曲目・出演アーティストなどを病院内に掲示しますので、ご確認の上、お聞きください。



正面玄関のスロープができました

お茶の水側の大学門から当病院の正面玄関をつなぐスロープが完成しました。季節を感じる花や木が配置されています。途中から雨に濡れないように屋根も付いています。写真は完成したスロープで握手をする宮坂前病院長と田中新病院長です。



東京医科歯科大学医学部附属病院 広報誌「オアシス」4号
発行 東京医科歯科大学医学部附属病院広報誌
〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45
東京医科歯科大学医学部附属病院総務課
デザイン・SOYA
編集・宇山恵子
撮影・田山達之

オアシスについてのご意見・ご感想は
syomu2.adm@tmd.ac.jp までご連絡ください。
本書の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き、
禁じられています。